

桑名市の現状と「のるーと桑名」の本格運行について

○地域公共交通の現状について

- 少子高齢化による運転手不足等の課題、人々の生活様式の変化、また、燃料費を始めとする物価や人件費の高騰など、地域公共交通を取り巻く環境は厳しい状況にあります。
- 将来に向けて持続可能な交通体系を維持していくためには、交通空白地における移動手段のあり方を大きく見直す必要があります。
- 交通空白地における移動手段として、本市ではコミュニティバスを運行しておりますが、利用者の皆様の要望・意見へ対応するためには、新たな移動手段が必要となります。

○のるーと桑名の本格運行について

- 本市では、交通空白地域における新たな移動手段として、令和7年2月より、西部南地区において、「のるーと桑名」の本格運行を開始しました。
- 「のるーと桑名」の本格運行により、「ご希望に応じた時間での移動」、「目的地までの移動時間の短縮」、「利用者ニーズに合わせた乗降拠点の設置」、「鉄道を含め他路線への円滑な乗り換え」を実現します。
- 従来のコミュニティバスと比較し、ご利用いただく皆様の満足度を格段に向上させることが可能となります。

「のるーと桑名」について

- 時刻表や決まった運行ルートがなく、AI（人工知能）が予約状況に応じて配車や運行ルートを考えてながら走る乗合バスです。
- 定時定路線で運行するコミュニティバスと異なり、走行ルートや乗降場所、運行ダイヤにとらわれない新たな移動手段となります。
- 本市では、令和3年度より継続して実証実験に取り組み、免許返納者への割引やLINE予約など本格運行に向けたサービスの向上に努めて参りました。ご利用いただいた皆様からはご好評をいただくとともに、「のるーと桑名」の本格導入を望むご意見をいただきました。



○桑名市では、交通空白地における移動手段を確保するとともに、公共交通を利用される皆様に寄り添い、利用者の皆様からの要望や意見に応じた、きめ細やかなサービスを提供するため、西部南地区において、「コミュニティバス」から「のるーと桑名」へ段階的に移行していきます。

「コミュニティバス」から「のるーと桑名」への移行について

- 西部南地区において、AI活用型オンデマンドバス「のるーと桑名」の本格運行を開始するとともに、以下のスケジュールで「コミュニティバス」から「のるーと桑名」へ完全に移行します。

Step 1 (令和7年2月10日～3月末)

- のるーと桑名とコミュニティバスの**並行稼働を行いつつ、利用者への周知を徹底**

Step 2 (令和7年4月1日から6月末)

- 既存のコミュニティバスユーザーへの影響を考慮し、**利用者の集中する午前便（1便及び2便）のみ稼働**

Step 3 (令和7年7月1日～)

- コミュニティバスから**AI活用型オンデマンドバス「のるーと桑名」への完全移行**

	R7年1月	R7年2月	R7年3月	R7年4月	R7年5月	R7年6月	R7年7月～
コミュニティバス		Step1全便運行		Step2減便運行			Step3完全移行
AI活用型オンデマンドバス		2月10日	本格運行開始				